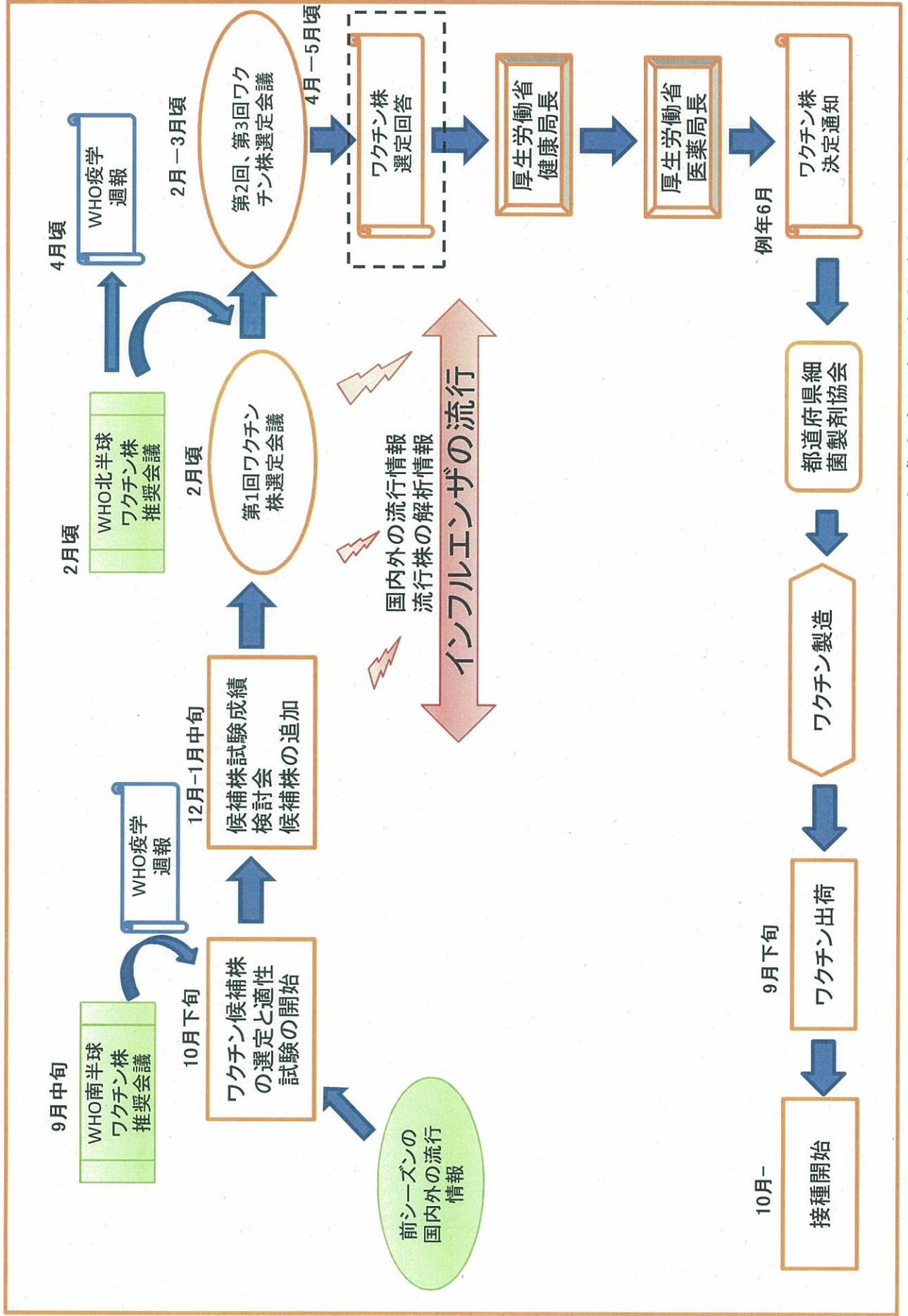


# 2011/12シーズンのインフルエンザワクチン について

厚生労働省 健康局 結核感染症課

# インフルエンザワクチン株とその選定プロセス



(国立感染症研究所提供資料を参考に作成)

# 2011/2012シーズン インフルエンザHAワクチン製造株について

## 1. WHOが推薦するワクチン株の構成

WHOは以下のインフルエンザ株を流行を予測しており、ワクチン株として推奨している。

- (1) A/カリフォルニア/7/2009 (H1N1)類似株
- (2) A/パース/16/2009 (H3N2)類似株
- (3) B/ブリスベン/60/2008類似株

## 2. 国立感染症研究所における検討結果

上記WHO勧告を踏まえ、2011/2012シーズンは以下の3株をワクチン株として選定した。

- (1) A/カリフォルニア/7/2009 (H1N1)pdm高増殖株X-179A
- (2) A/ビクトリア/210/2009 (H3N2)高増殖株X-187 ※
- (3) B/ブリスベン/60/2008

## 3. 我が国のワクチン製造株について

国立感染症研究所の選定した3株でワクチンを製造することとする。

※2010/2011シーズンは、国立感染症研究所の報告において、A/ビクトリア/210/2009 (H3N2)高増殖株X-187について、動物の血清を用いた交叉反応試験の結果から流行株に対する効果が十分でない可能性が考えられるとの留意点が付された。2011/2012シーズンにおいても、国立感染症研究所が同様の点を含めて検討し、他の類似ワクチン株と比較した結果、同株が総合的に最も適切であると判断し、製造株として選定した。